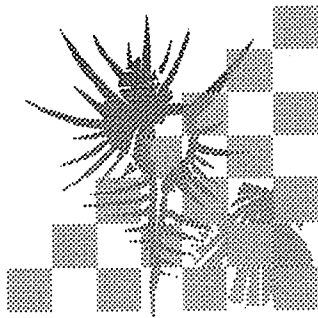


第3回

# ことばフォーラム

テーマ1 「放課後の漢字」

テーマ2 「話しことばの秘密」



平成12年8月8日(火)

国立国語研究所

# 放課後の漢字

笹原宏之

(言語体系研究部第三研究室主任研究官)

横山詔一

(情報資料研究部

電子計算機システム開発研究室主任研究官)

## 放課後の漢字

笹原宏之・横山詔一

### 1. はじめに

小学校に入って最初に勉強した字は覚えていますか？

たぶん、それは「一」だったでしょう。

それでは、それから今までに覚えた漢字は、いくつくらいあると思いますか？

### 2. 国語で学習する漢字

実は、学校の国語の時間に「新出漢字」として、中学校、高等学校を卒業するまでに、全部でだいたい1945字を勉強することになっています。これを「常用漢字」といいます。

これは、一般の社会生活で漢字を使うときの目安とされているもので、その中には、「繭・諮・匆・璽・渦」のように難しいものもあります。

### 3. 暮らしの中で目にする漢字

さて、みなさんは、学校の授業が終わってから、どんなことをしていますか？

読書をする人は？

新聞を読む人は？

漫画本を読む人は？

テレビを見る人は？

パソコンや携帯電話でインターネットを見たり、メールをやりとりする人は？

それから、自分の家ではなく、友だちの家に遊びに行ったり、買い物に出る人は？

実は、人は、それぞれの場面で、国語の教科書では勉強しない漢字をたくさん見ているのです。今から、それらを、少し観察してみましょう。

### 4. 書籍で目にする漢字

書籍には、次の〈資料1〉のように、難しい漢字がたくさん使われているものがありますね。これは、昔の本なので、字の形も古いものがあり、読み仮名も振られていません。

実は、「吾」とか「誰」も国語の教科書には出てきますが、そこでは読み仮名が付いていて、「新出漢字」としては習わないものです。

<資料1> 小説 夏目漱石『吾輩は猫である』（初版本）

吾輩は猫である。名前はまだ無い。  
どこで生れたか頼と見當がつかぬ。何でも暗薄いじめじめした所でニャー泣いて居た事丈は記憶して居る。吾輩はこゝで始めて人間といふものを見た。然もあとで聞くとそれは書生といふ人間で一番粹惡な種族であつたさうだ。此書生といふのは時々我々を捕へて煮て食ふといふ話である。然し其當時は何といふ考もなかつたから別段恐しいとも思はなかつた。但彼の掌に載せられてスーと持ち上げられた時何だかフハフハした感じが有つた許りである。掌の上で少し落ち付いて書生の顔を見たが所謂人間と

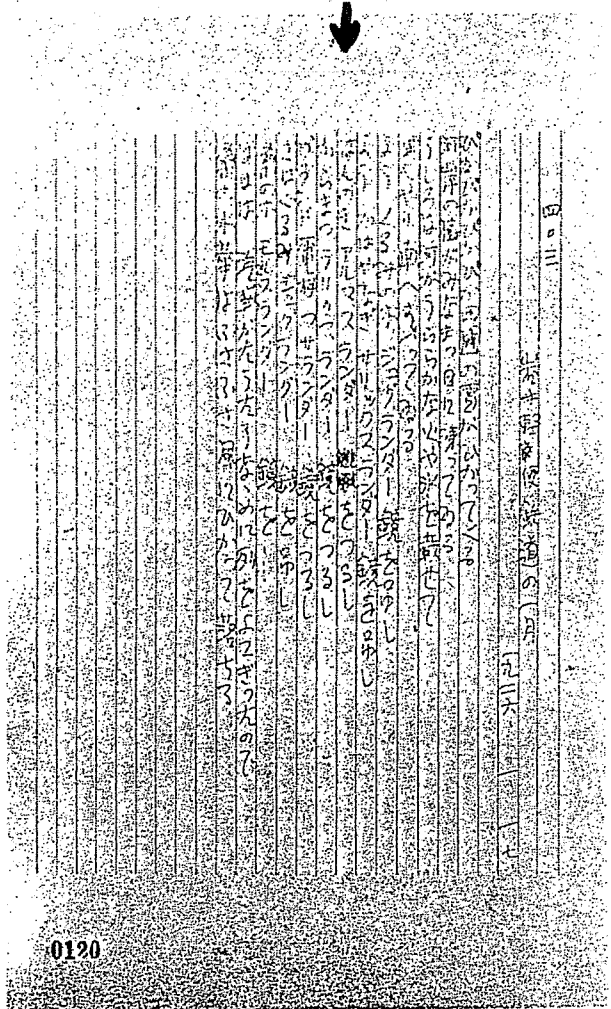
(第二)



夏目漱石

次の<資料2>の宮沢賢治の詩の原稿には、とても珍しい漢字があります。「鏡」を4字も重ねたものが使われています。これは、宮沢賢治が発明したもので、読み方は不明です。

<資料2> 詩 宮沢賢治  
「岩手<sup>けいべん</sup>軽便鉄道の一月」(原稿)



## 5. 新聞で目にする漢字

新聞は、難しい漢字が多いというイメージがあるかもしれませんが、実際には1字1字を見ると学校で国語の時間に習う漢字がほとんどで、それ以外の漢字は、〈資料3〉のようにふつう読み仮名がふられたり、平仮名に直されています。

### 〈資料3〉 『読売新聞』

報告は、韓国が南北政策の基本にする「南北基本合意書（九二年発効）の履行」と並び、日本が重要視する北朝鮮「非核」による「見られる拉致疑惑が「解決されるまで」として、日韓の要求を盛り込んだ。一方で報告は、「北朝鮮

担当局は、華僑に中国籍を捨て、「中国系トナム公民」として登録するよう事実上強制した。華僑・華人はその資金の取り込みを狙う在ハノイ中国大使館は中国渡航用のパスポートをひ

警視庁捜査一課と築地署は十五日、東京都及橋区赤塚新町の針さし師

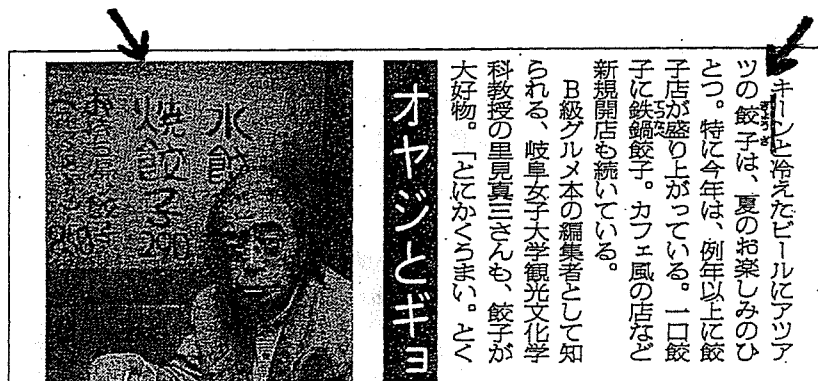
ちなみに、いちばんたくさん使われている漢字は何か分かりますか？ 「日本」とか「15日」、「日曜日」とかの「日」です。『読売新聞』でも『朝日新聞』でもそうになっています。

それでは、国語で習わない漢字で、いちばんよく出てくるのはというと、「藤」、次が「岡」です。

でも、これらは、皆さんや友だちの名前や住んでいる場所の名前、つまり固有名詞にも使われていませんか？ 学校では、社会科の時間などには出てきますが、実は国語では新出漢字としては学習することのない漢字です。

次の〈資料4〉の新聞には、「餃子（ギョーザ）」という漢字が出てきますが、文章の活字の「餃子」と、紙面の写真に写っている貼り紙の「餃子」とでは字の形が違いますね。このように、同じ字でも、字の形が違うものがあります。

### 〈資料4〉 『朝日新聞』



それでは、ここで簡単なアンケートをやってみましょう。

## 6. 漫画で目にする漢字

<資料5>の「爺」は読めますか？ これも国語では習わない漢字ですが、知っていますか。また、「儂」も、難しい字です。漫画も漢字の勉強になることがあるようです。

<資料5> 『週刊少年マガジン』



著作権上の理由により画像は削除しました

しかし、次の<資料6>を見て下さい。これは、有名なマンガですが、手書きのところに怪しい字があります。おそらく間違えてしまったのでしょうか。こういうこともありますから、要注意です。

<資料6> 『週刊少年ジャンプ』



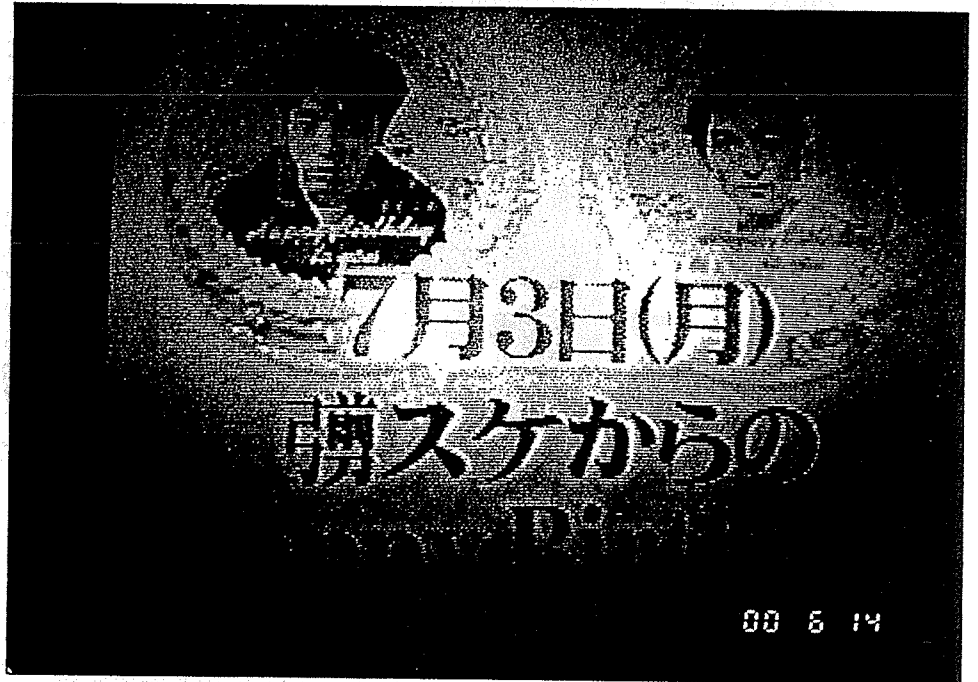
著作権上の理由により  
画像は削除しました

## 7. テレビで目にする漢字

テレビでも、漢字は意外にたくさん使われています。

<資料7>にある、あの人気グループSMAPの「草薙（くさなぎ）」君の「なぎ」なんて、今ではほとんどの人が読めると思いますが、大きな漢和辞典にも載っていない字でした。

<資料7> テレビ番組



次の<資料8>の「𠂔」という字は読めますか？ 「α (アルファ)」に似ていますが、「しめ」と読む字で、「𠂔切」などと使われています。見た目も記号のようです。

<資料8> テレビ番組



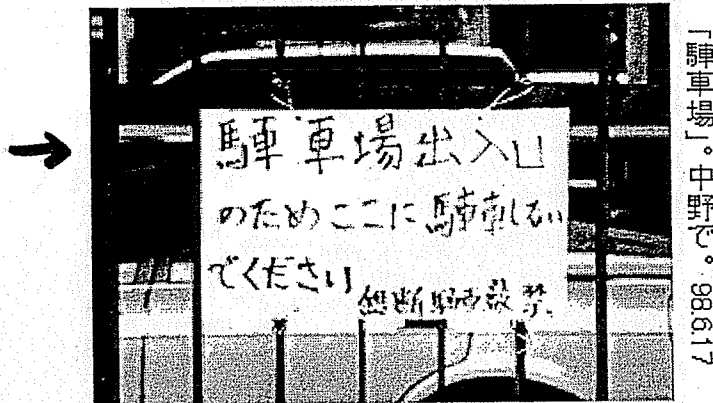
## 8. パソコン・携帯電話で目にする漢字

今は、パソコン通信や携帯電話でも、インターネットを見ることができたり、漢字で手紙（メール）を送ってくる人がいますよね。

インターネットでは、＜資料9＞のように珍しい漢字について取り上げたホームページがいくつもあり、なかなか勉強になります。

＜資料9＞ インターネット（パソコンでプリントアウトしたもの）

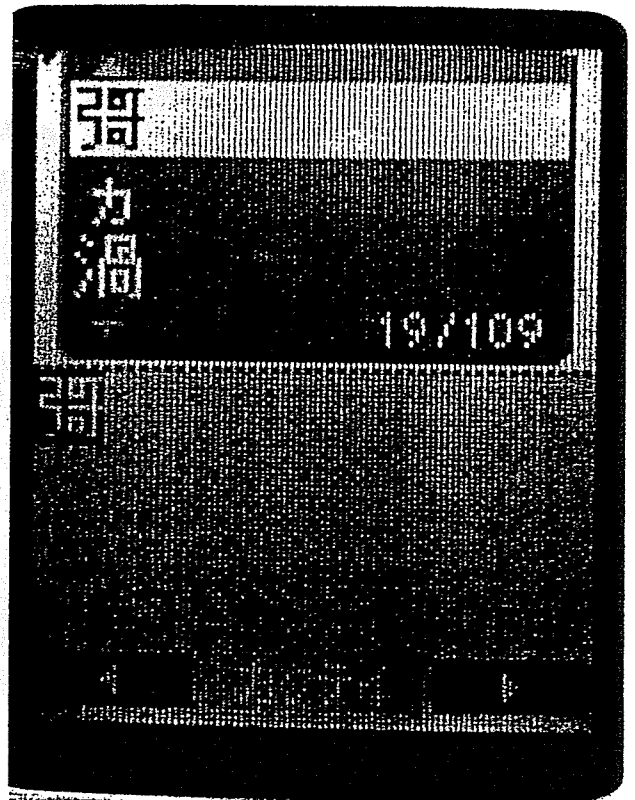
[http://www.asahi-net.or.jp/~qm4h-iim/x\\_tyusya.jpg](http://www.asahi-net.or.jp/~qm4h-iim/x_tyusya.jpg)



さて、携帯電話でも一番使われている字は何かというと、やはり「日」という字のようです。もし、「俺（おれ）」とか「頃（ころ）」なんて漢字を送ってきたら、それも国語では習わない漢字です。自分でも、こういう漢字を打ちますか？

ついでにいうと、＜資料10＞にあるように、ワープロや携帯電話には、幽霊のような漢字が入っているのです。「𠩺」とか「𠩻」とかは、どんな先生でも、なんて読むのかよく分からないものなのです。

＜資料10＞ 携帯電話 『AERA』



JISコードの委員たちは60個ほどの「幽霊文字」の出典を徹底調査、転記ミスなどを突き止めた。最後まで残ったのが「𠩺」だ



9. 街中で目にする漢字

家の外に出ると、お店の看板や、家の表札などにいろいろな漢字を見かけます。

街中で、いちばん使われているのは、やはり「日」のようです。でも、国語で習わない「鮭(すし)」なども、見かけます。

また、さっきの「藤」「岡」「埼」などの漢字も固有名詞の中に、よく見られます。

ほかにも、看板には、〈資料 11〉のように、特別な漢字を見ることがあります。

これは「曜」をわざと略して書いたものです。

〈資料 11〉 看板



私の家の近所で、交通違反をしたために、レッカー車で移動された跡があったのですが、その道路の上に、チョークで次の字が書いてありました。

「罨」

これは、あまり見かけませんが、実は、お巡りさんたちだけはよく使う略字、つまり故意に省略して書いた字です。

次の〈資料 12〉は、どうしてこうなったのでしょうか。

〈資料 12〉 看板



こんな経験はないですか？

「問1 問(口が2)」

これと同じようにして発生した間違いです。これと同じように「駐車」の「駐」の字が「軒」

となってしまったものもあります。

## 10. まとめ

以上のように、それぞれの場面ごとに、使われている漢字にも特徴があるようです。私たちは、それらの漢字を、学校の外で色々なもので目にしているのです。そして、知らず知らずのうちに、読めるようになっていく漢字があったはずで

そして、自分で漢字を書こうとしたり、ワープロを打とうとするときに、それまでに漢字を見たおかげで正しく使える、つまり漢字を見てきた経験が役立つことがあるでしょう。

ただし、最後に看板で見たように、略字なども使われているので、あやふやな時には、辞書で確かめたり、字をよく知っている人にきいてみましょう。

ここまで、学校の国語の時間以外で目にする漢字のお話をしてきましたが、学校で習う漢字は、基本的なものが多く、また習っていない字を覚える時にもきわめて役に立つものです。学校でも、漢字はしっかりと勉強をしましょう。

- ・漢字は、国語で習わないものも使われている。
- ・漢字は、場面ごとに特徴がある。
- ・漢字は、目にしているうちに読めるようになるが、確認も必要である。

## 《資料の出典名一覧》

- <資料1> 名著復刻全集編集委員会『名著復刻漱石文学館』（日本近代文学館）
- <資料2> 天沢退次郎『新潮日本文学アルバム12 宮沢賢治』（新潮社 1984）
- <資料3> 『読売新聞』（1999.9.16付）
- <資料4> 『朝日新聞』（1999.7.8付）
- <資料5> 寺沢大介「将太の寿司」（『少年マガジン』 2000.4.12号）
- <資料6> 秋本治「こちら葛飾区亀有公園前派出所」（『少年ジャンプ』 1999.7.5号）
- <資料7> テレビ朝日「「ぶっ」すま」（2000.6.13放送23時）
- <資料8> フジテレビ「ウオッ！チャ」（2000.4.1放送12時）
- <資料9> 飯間浩明「文字のスナップ」（インターネットのホームページ 2000.7現在）
- <資料10> 「「幽霊」も出る携帯電話」（『AERA』2000.5.22号）
- <資料11> 看板（北区 2000.2現在 久富佳子氏撮影）
- <資料12> 壁（杉並区 1999.5現在 笹原宏之撮影）

# 話しことばの秘密

前 川 喜 久 雄

(言語行動研究部第二研究室長)

# 話しことばの秘密

国立国語研究所  
言語行動研究部  
前川 喜久雄

---

---

---

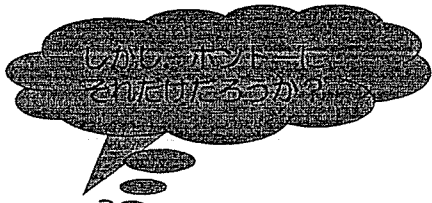
---

---

---

---

---



書きことばは文字を使う  
話しことばは音声を使う  
(媒体のちがい)

---

---

---

---

---

---

---

---

## 音声と文字のちがい



- 音声言語の歴史は一万年以上
- 文字言語の歴史はたかだか数千年
  - 文字をもたない言語はいくらもある
- 音声は保存がきかない(きかなかった)
  - リアルタイム処理が必要
- 文字はもともと保存が目的
  - 読み返しができる
- 伝える情報の質にもちがいがある

---

---

---

---

---

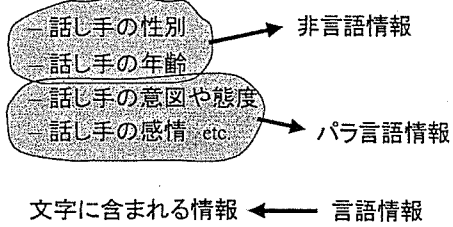
---

---

---

### デモ1:「ヤマダサンデスカ」<sup>※</sup>

- 同じ文字列(書きことば)でも、それが音声として発音されるときには、さまざまな「情報」が添加される




---

---

---

---

---

---

---

---

### 話しことばに含まれる「情報」の分類

Fujisaki(1997)による

	意図的に制御可能か	カテゴリをなすか	カテゴリ内で強度変化があるか
言語情報	Yes	Yes	No
パラ言語情報	Yes	Yes	Yes
非言語情報	No	Yes/No	Yes/No

---

---

---

---

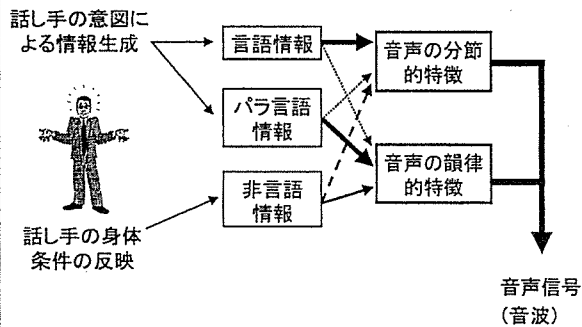
---

---

---

---

### 音声は言語、パラ言語、非言語情報をどう伝えるか




---

---

---

---

---

---

---

---

## 音声の分節特徴と韻律特徴

	物理学的には	生理学的には	言語学的には
分節特徴	音の音色(スペクトル)の情報	舌や唇や顎の運動パターンによって決定	短い時間区間に対して定まり, 要素数が多い
韻律特徴	音の高さ(ピッチ)や強さや長さの情報	喉頭(特に声帯)によって制御	比較的長い区間に対して定まり, 要素数が少ない

---

---

---

---

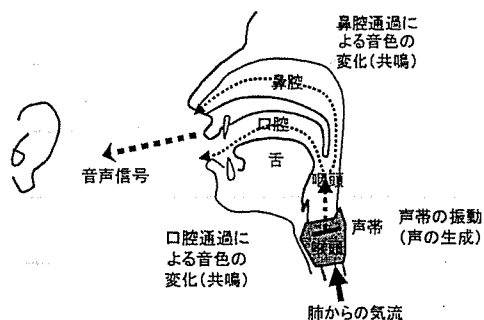
---

---

---

---

## 音声生成の生理学(母音)




---

---

---

---

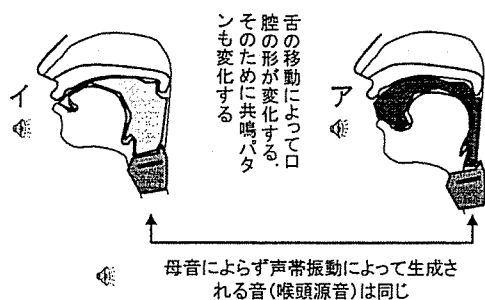
---

---

---

---

## 母音の音色(分節特徴)の調整




---

---

---

---

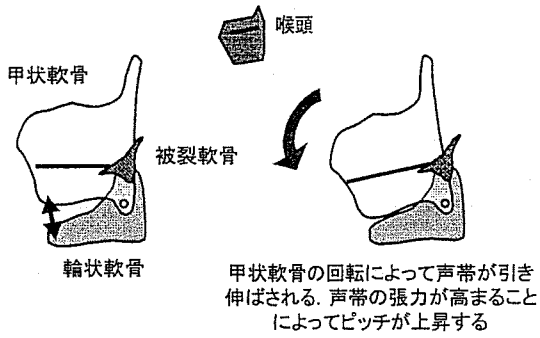
---

---

---

---

### 声の高さ(韻律特徴)の調整




---

---

---

---

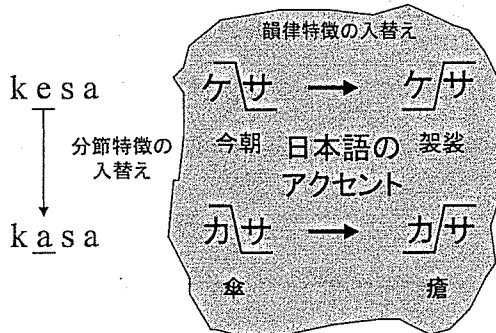
---

---

---

---

### 分節特徴, 韻律特徴と単語の意味




---

---

---

---

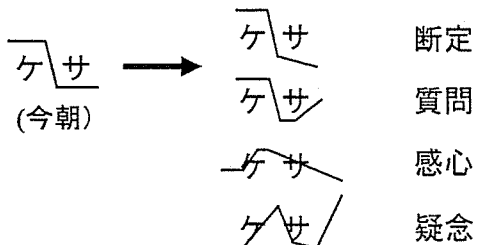
---

---

---

---

### パラ言語情報による韻律の変化



アクセントの特徴自体(この場合、ケからサへの声の高さの下降)は変化しない

---

---

---

---

---

---

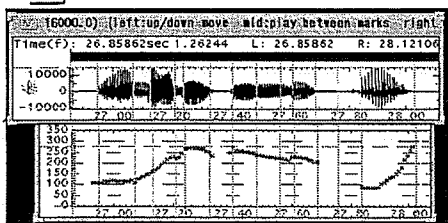
---

---

# 実例:「ヤマダサンデスカ」

言語情報として定まっている分節特徴と韻律特徴(声の高さ)

ヤ/マダ サン デス カ




---

---

---

---

---

---

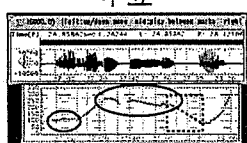
---

---

---

---

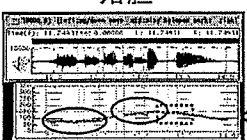
中立



疑念



落胆



感心




---

---

---

---

---

---

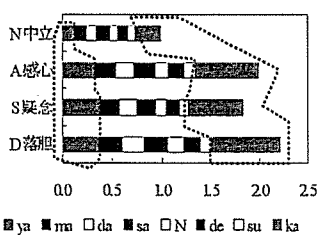
---

---

---

---

# 持続時間への影響



全体が一様に伸び縮みするわけではない。冒頭と末尾(特に末尾)が大きく変化し、中間部は変化が少ない。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



### ここまでのまとめ

- 音声は言語情報(主として分節特徴)とパラ言語情報(主として韻律特徴)のステレオ放送である。一方、文字は音声のもつ分節特徴だけを表現しているために、言語情報だけのモノラル放送になっている。
- 音声でステレオ放送が可能であるのは、分節特徴を生成する音声器官(唇や舌など)と韻律特徴を制御する音声器官(喉頭)が生理学的に分離されているからである。
- パラ言語情報のための生じる韻律特徴の変化は、韻律特徴に含まれる言語情報(アクセント)を壊していない。

---

---

---

---

---

---

---

---

### さらに検討したい問題

- 音声の分節特徴もパラ言語情報の伝達にも貢献しているのではないだろうか。
- 喉頭源音には、声の高さ(ピッチ)以外にも、パラ言語情報の伝達に貢献している要素があるのではないか。

---

---

---

---

---

---

---

---